

北海道に生息するマルハナバチたち

顔の長さ 種類	カースト	＜女王バチ＞	＜働きバチ＞	＜オスバチ＞
	種別		春先(巣作り女王)と秋(新女王)に活動。ひとまわり大きい。	花粉ダンゴをよく後脚につけている。シーズン中ずっと見られる。
短い ↑ 長い ↓ 短い	セイヨウ(外来種) 鮮やかな黄色と黒のストライプと、白いお尻が特徴。			
	①エゾナガマル 明るい黄褐色。腹部背面に黒い帯(菱形に見える)比較的山に多い。			
	②エゾトラマル シュレンクによく似る。オレンジ～レモン色。腹部先端が黒っぽい。町中でも見かける。			
	③シュレンク 側面が淡い黄色。背面の赤みが強く。縞模様ははっきり。			
	④ハイロマル類 (ハイロマル又はニセハイロマル)地味。胸部背面に黒い部分。腹部背面に三本の黒い筋。町中でもみかける。			
	⑤エゾコマル エゾオオに似るが小型で細面。早い時期に営巣し、夏頃までに解散。			 鮮やかな黄色が目立つ。お尻がオレンジに見えることが多い。
	⑥アカマル 腹部先端は黒く、最末端は白い。早い時期に営巣し、巣の解散も早い。			
	⑦エゾヒメマル 淡い黄褐色。北海道で一番小さいマルハナ。高山帯でよく見る。			
	⑧エゾオオマル 腹部先端はオレンジ色。町中から山まで、幅広く見かける。			
⑨ノサップ セイヨウによく似る。野付半島や根室など道東のごく一部に生息。		 一部お尻が白い個体もいるとのこと。セイヨウとの誤捕獲に注意が必要。		

※ 上記に加え、石狩平野より西には「ミヤママルハナバチ」が生息(シュレンクマルハナバチにそっくりだが、シュレンクは石狩平野より東に生息)。

図は、「マルハナバチ・ハンドブック-野山の花とのパートナーシップを知るために」(鷲谷いづみら、文一総合出版)を転用